



課題解決への主体的で活発な意見交換に好感度アップ！

——生徒会執行部・職員合同会議【11月6日】



この会の目的は次の3点です。

○4月から取り組んできた生徒会活動の成果と課題について、学校全体で共通認識を持つ。

○3年生の生徒会執行部としては、これまでのまとめ、1、2年生にとっては、生徒会役員選挙に向けた動機付けとする。

○これからの天水中の向かうべき方向について、学校全体で確認する。

閉会後に熊本大学教職大学院シニア教授の太田恭司先生に講評をしていただきました。太田先生はこの会の意義を次のように価値付けてくださいました。天水中の取組は「生徒さんや地域の未来につながっていく」。『たし算』が『かけ算』に変わることによって天水中の力が加速度的に伸びていく。特別活動が本校の教育活動を推進するハンドルでありエンジンであることを確認できた有意義な会となりました。



今回だけでは物足りない？

限定企画・先生方による「絆プロジェクト」読み聞かせ【11月12日】

——本校における秋の読書週間【11月9日～13日】

日本国内では現在10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）までが読書週間となっています。その始まりは終戦の2年後の1947年（昭和22年）、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と決意をひとつに、出版社、取次会社、書店と公共図書館が力を合わせ、さらに新聞・放送のマスコミ機関の協力のもとに、第1回「読書週間」が開催されたということです。

本校でも図書委員会の生徒さんなどによる「おすすめの本」が展示されています。昨日12日には選抜された先生方による読み聞かせが行われました。どの教室でも選定された本についての先生方の思いが語られ、それをワクワクした表情で聞き入る生徒さんたちの姿が見られました。今回は読み聞かせができなかった先生方の中には自分も是非やりたいという声も聞かれました。次回の実施が楽しみです。

「灯火親しむ」と言われる秋です。日没後の時間が長くなった秋です。その時間を自ら選んだ本と向き合うことで、思索を深めたり経験を広げたりすることにつないでみてはいかがでしょうか。



多目的ホール前に
図書委員会から